



平成28年度

# 決算特集号



新道峠(芦川町)からの風景

平成28年度決算が9月議会で認定されました。

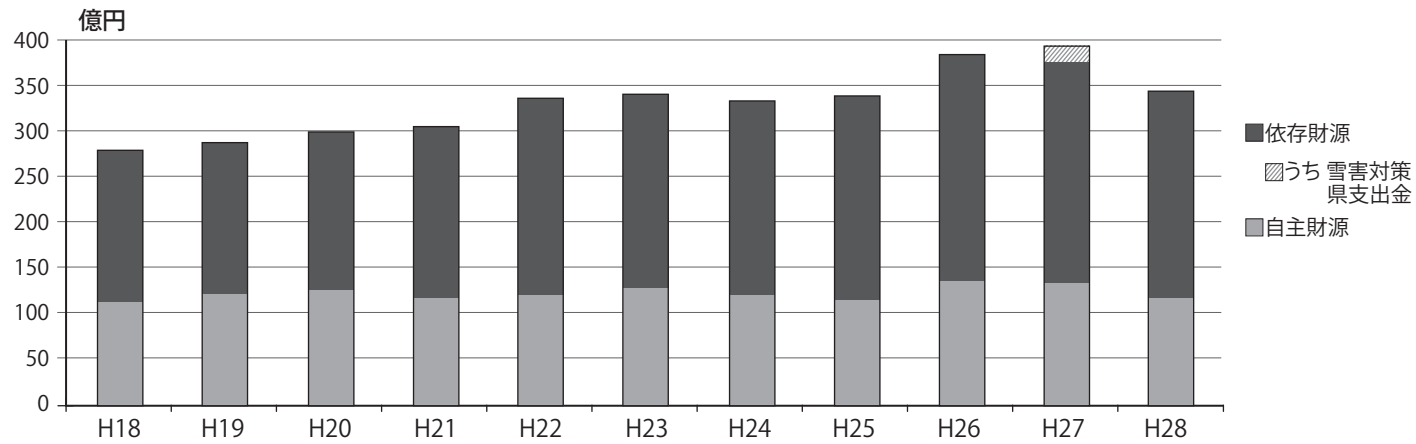
一般会計の決算を中心に、笛吹市の決算の概要を紹介します。

## CONTENTS(内容)

決算の概要	2~5
市の基金(貯金)と市債(借金)	6
財政健全化判断比率など	7
平成28年度の主な事業	8

### 一般会計 自主財源・依存財源の推移

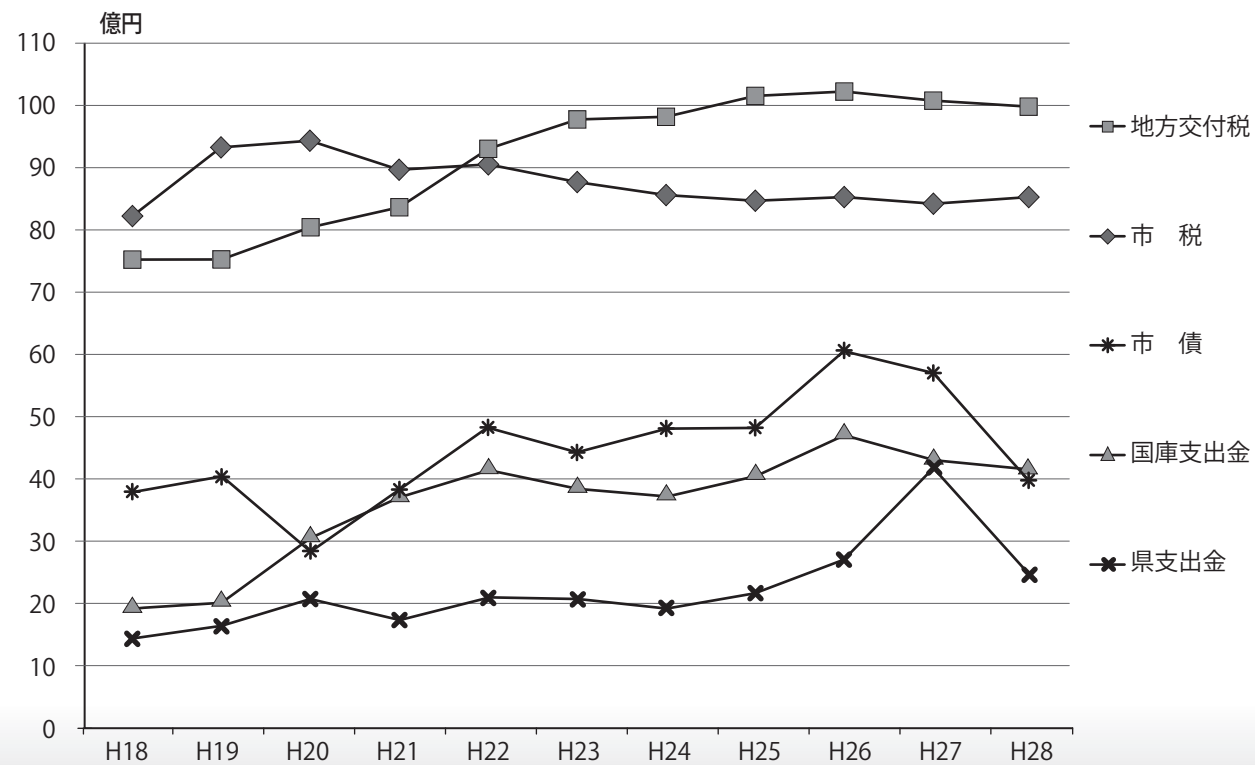
合併からの推移を見ると、自主財源はほぼ横ばい、依存財源は増加傾向にありましたが、平成27年度以降、地方交付税や国庫支出金の減少に伴い、依存財源は減少しています。



### 一般会計 主な歳入科目の決算額推移

大型建設事業の終了により、それに伴う国庫支出金や市債等の依存財源は減少傾向に転じました。なお、県支出金については、平成26年度の記録的大雪被害による倒壊ハウス等再建のための補助金が大幅に減額となったことに伴い、減少しました。

一方、自主財源の根幹である市税については、法人住民税等は減少したものの、所得額の上昇や税率改正により、個人住民税や固定資産税、軽自動車税が増加したため、市税全体としては増加しました。

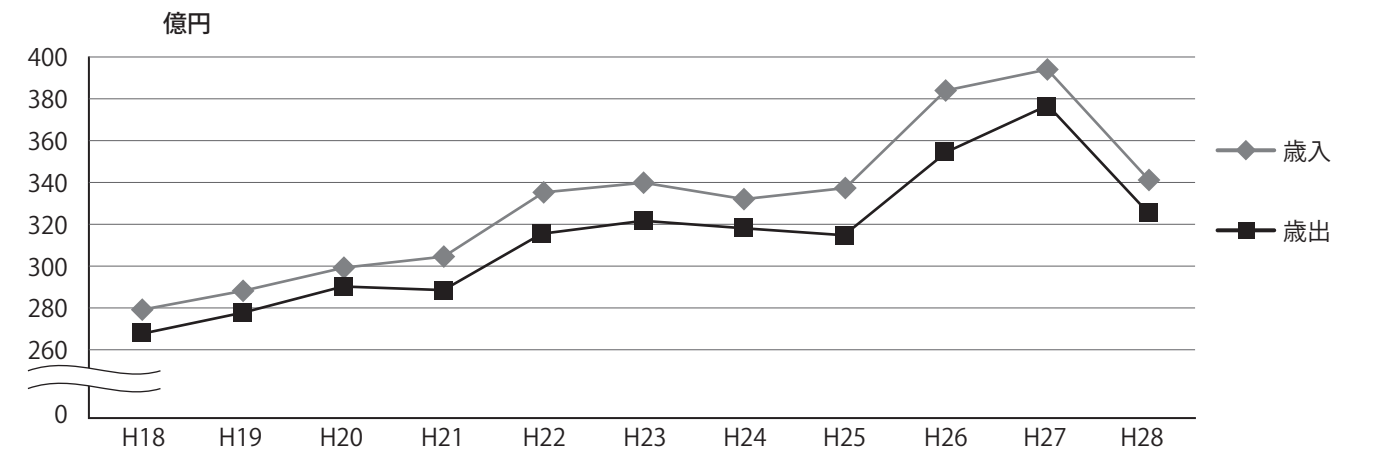


## 平成28年度 決算概要

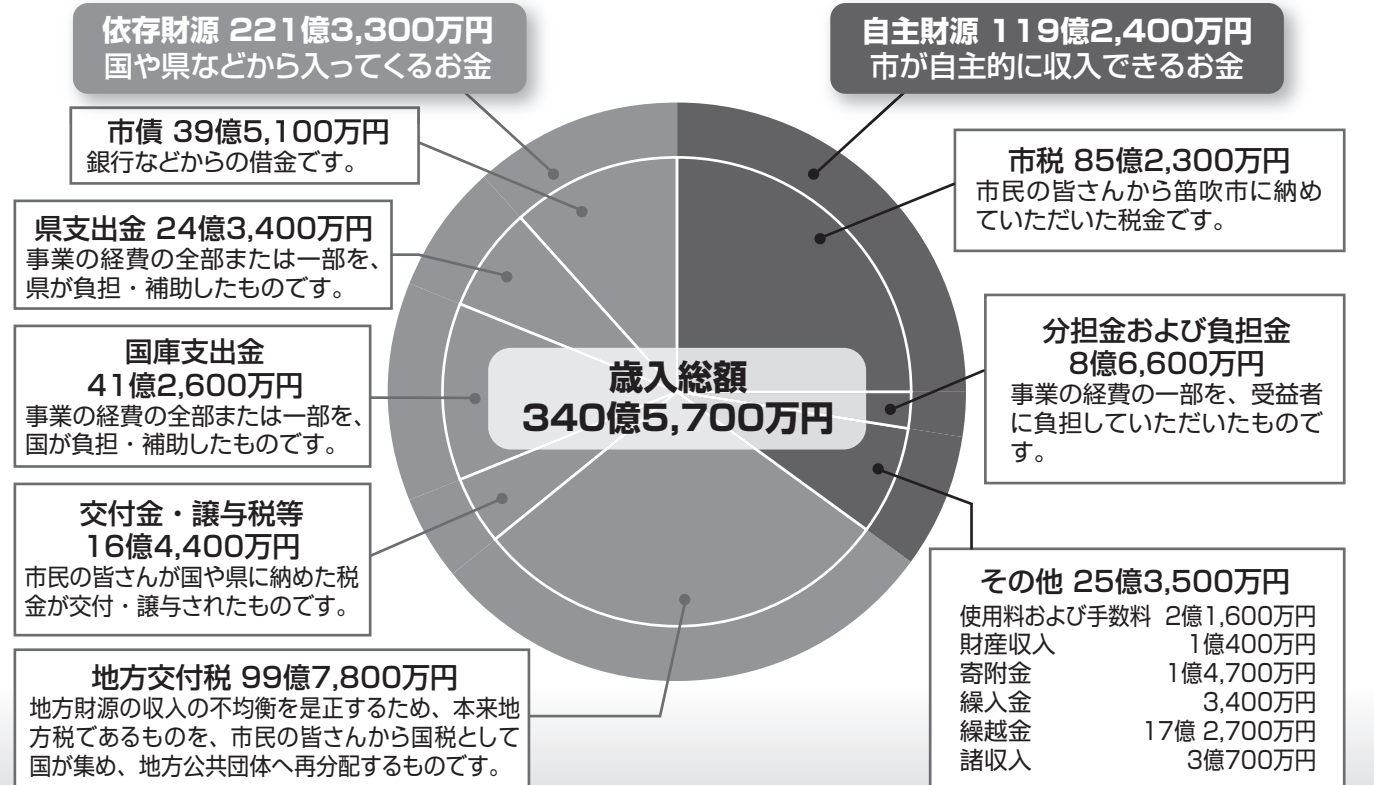
平成28年度決算が、9月議会で審議され、認定されました。ここでは、市民の皆さんが納入した税金がどのように使われ、また、市の財政が今どのような状況にあるのかをお知らせします。

### 一般会計 歳入・歳出の決算規模

平成28年度一般会計決算は、歳入総額が340億5,700万円、歳出総額が324億2,000万円でした。昨年度と比較すると、歳入は53億2,600万円減、歳出は52億5,300万円減と、決算の規模が縮小しました。



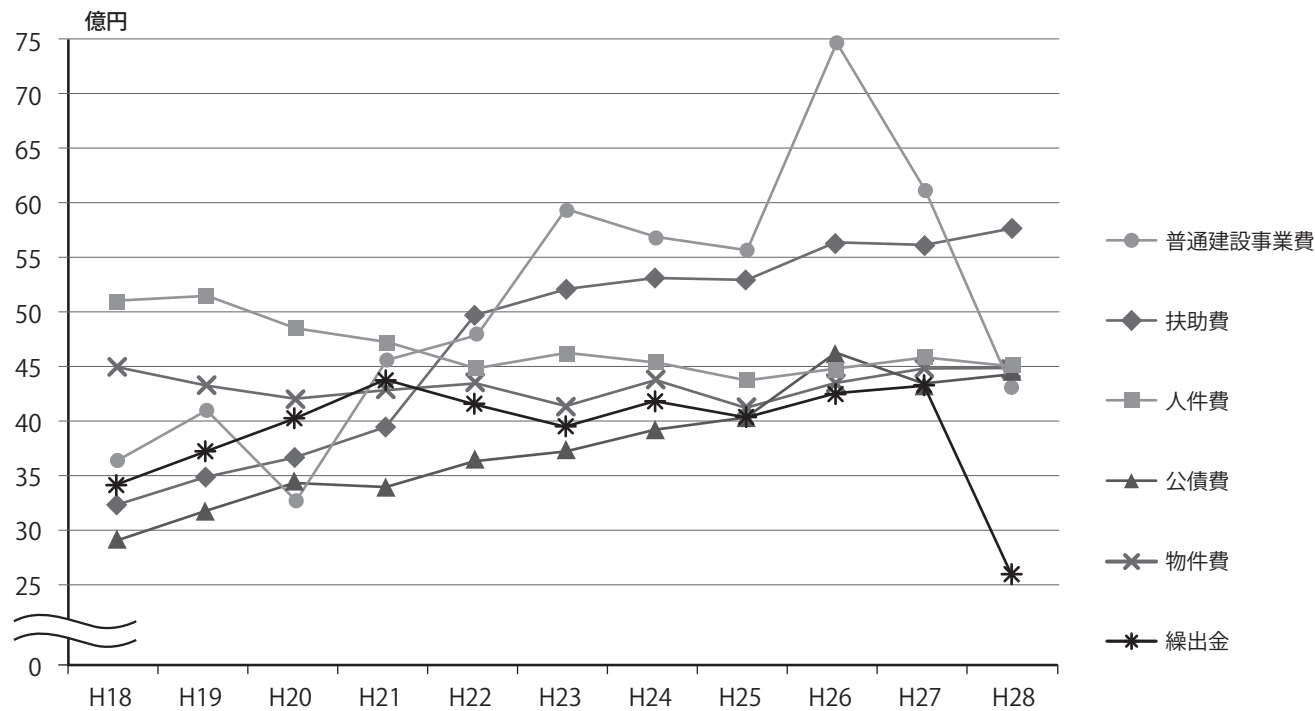
### 一般会計 歳入の内容





## 一般会計 性質別歳出額の推移

子どもや高齢者、障がい者等を支援するための費用である扶助費と、道路や水路、公共施設などの整備にかかる経費である普通建設事業費が、歳出の中で高い割合を占めています。扶助費については、年々増加傾向にある中、平成28年度は合併後最大の額となりました。一方、普通建設事業費は、基盤整備を目的とした大型建設事業の完了に伴い、大きく減少しています。

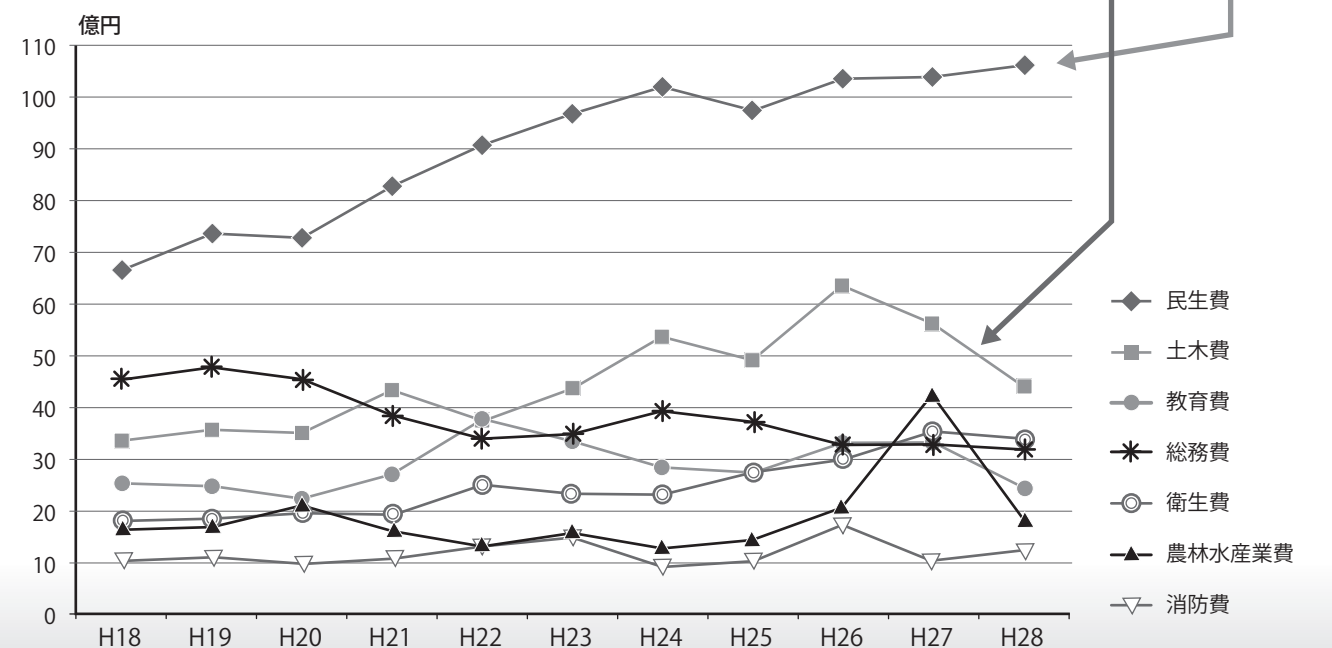
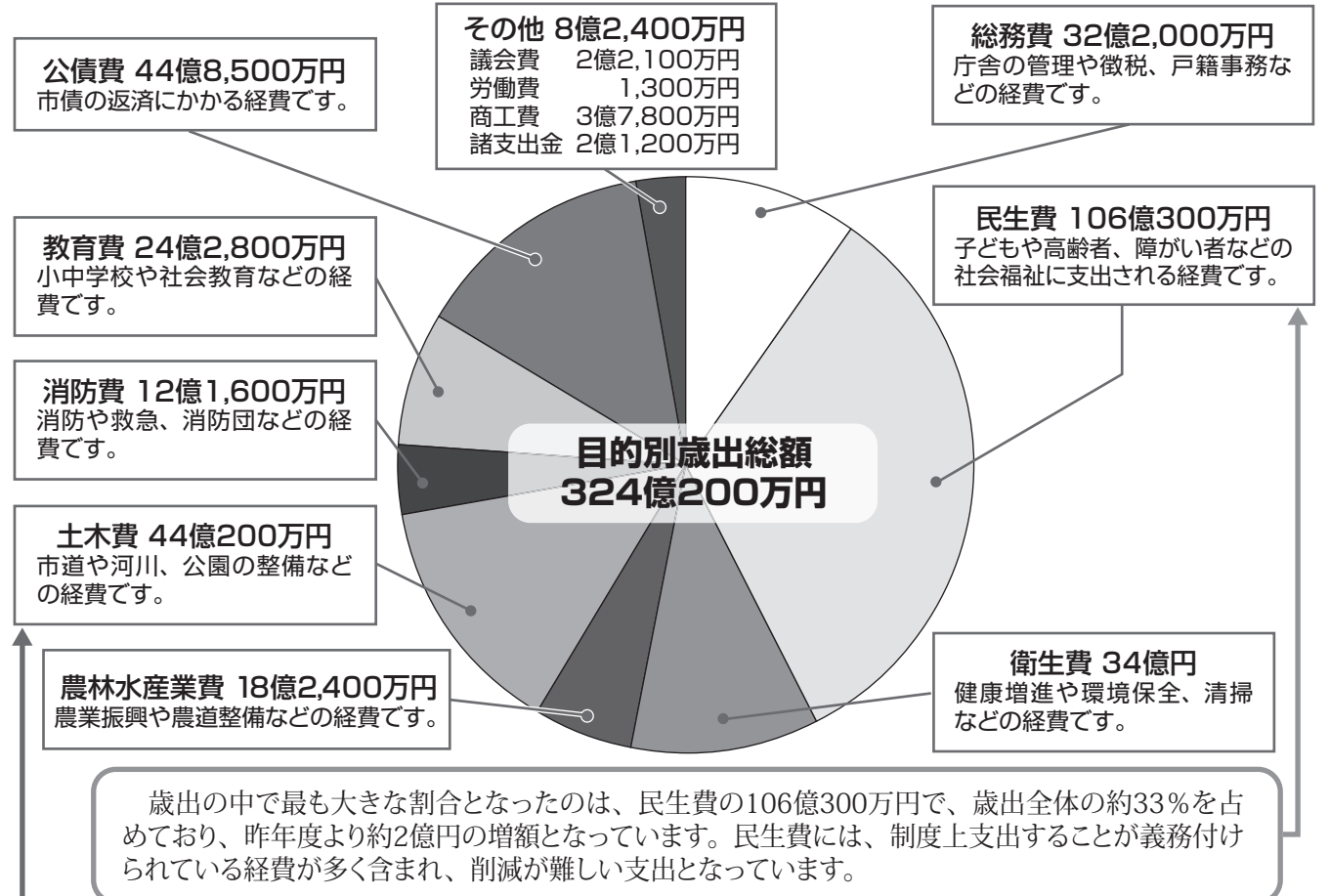


## 特別会計・企業会計の決算状況

会計区分	収入済額	支出済額	会計	区分	決算額
国民健康保険特別会計	104億 3,202万円	100億 8,118万円	水道事業会計	収益的	収入 16億 9,132万円
介護保険特別会計	62億 5,228万円	60億 8,115万円		支出 16億 4,680万円	
介護サービス特別会計	2,643万円	1,730万円	資本的	収入 6億 7,351万円	
後期高齢者医療特別会計	13億 2,160万円	13億 1,634万円	支出 12億 5,990万円		
農業集落排水特別会計	4,868万円	4,608万円	春日居地区 温泉給湯事業 会計	収益的	収入 6,618万円
簡易水道特別会計	2,041万円	1,572万円		支出 5,710万円	
恩賜県有財産保護財産区 管理会(9特別会計合計)	5,062万円	379万円	資本的	収入 0万円	
			支出 1,054万円		
合計	181億 5,204万円	175億 6,156万円	公共下水道 事業会計	収益的	収入 19億 7,735万円
				支出 19億 9,743万円	
			資本的	収入 9億 3,823万円	
			支出 16億 9,736万円		

収益的および資本的収入が支出に不足する額は補てん財源で措置しました。

## 一般会計 歳出の内容



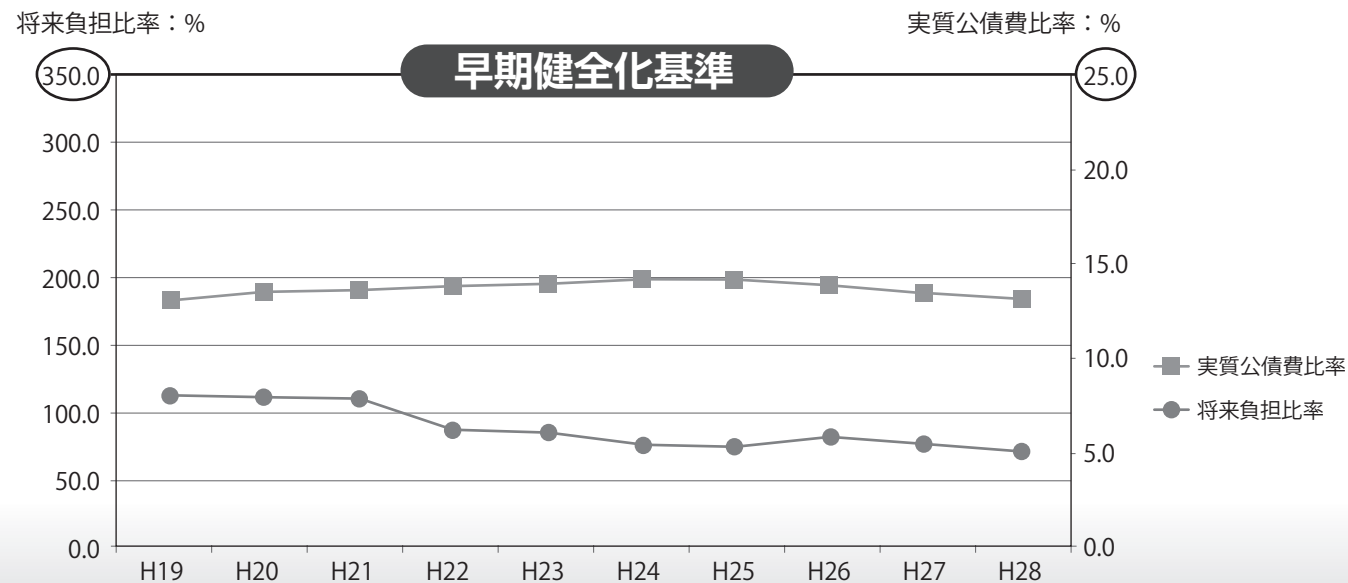
## 財政の健全度を判断する指標を公表します

平成28年度決算に基づく算定の結果、全ての指標が「健全」の基準内となり、健全な財政運営が維持されていると判断できます。

指標	比率の説明	早期健全化基準	算定結果(前年度)		
健全化判断比率	①実質赤字比率	一般会計の赤字額の程度を市の財政規模と比較して指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。	12.50%	— (—)	一般会計は黒字となっていますので、指標化されません。
	②連結実質赤字比率	一般会計、特別会計および公営企業会計の赤字額や黒字額を合算して、市全体の赤字の程度を指標化し、財政運営の健康度を示す比率です。	17.50%	— (—)	全ての会計において黒字となっていますので、指標化されません。
	③実質公債費比率	一般会計の借入金の返済額と公営企業会計や一部事務組合の借入金の返済金のうち、一般会計から支出されたと認められる額の合計額を市の財政規模と比較して指標化し、資金繰りの安全度を示す比率です。	25.0%	13.1% (13.4%)	前年度から0.3ポイント減少し、早期健全化基準の「25.0%」を下回っていますので、健全といえます。
	④将来負担比率	将来負担すべき額から市の貯金などを差し引いた額を、市の財政規模と比較して指標化し、今後の財政を圧迫する可能性を示す比率です。	350.0%	70.4% (77.6%)	前年度から7.2ポイント減少し、早期健全化基準の「350.0%」を下回っていますので、健全といえます。
	⑤資金不足比率	上水道、下水道など公営企業の資金不足を指標化し、経営の健康度を示す比率です。もし、ある公営企業会計で赤字が出たときには、赤字額をその公営企業の料金収入の規模と比較して、指標化します。	20.0%	— (—)	全ての公営企業会計とも赤字となっていないので、指標化されません。

## 財政指標の推移

財政健全化指標の公表が義務付けられた平成19年度以降の数値をグラフで表すと、将来負担比率は減少傾向、実質公債費比率は若干の増加傾向にあったものの、平成26年度以降3年連続で減少しました。笛吹市では、各指標とも早期健全化基準を大きく下回っているため、健全な財政状態が保たれていることが判断できます。



## 一般会計 基金(貯金)残高の状況

	平成27年度末	平成28年度末	増減額
財政調整基金	38億 9,190万円	39億 3,912万円	4,722万円
減債基金	17億 8,858万円	17億 8,960万円	102万円
公共施設整備等基金	35億 5,816万円	35億 7,003万円	1,187万円
地域振興基金	48億 8,029万円	48億 8,395万円	366万円
その他特定目的基金	21億 9,943万円	23億 1,517万円	1億 1,574万円
合計	163億 1,836万円	164億 9,787万円	1億 7,951万円

基金とは、家計でいうと預貯金のことです。決算剰余金が生じた場合などには、基金に積立を行い、特定の目的を持った基金については、各事業に充当するため、必要に応じて取り崩すことになります。平成28年度は、2億1,340万円を積み立て、3,390万円の取り崩しを行いました。

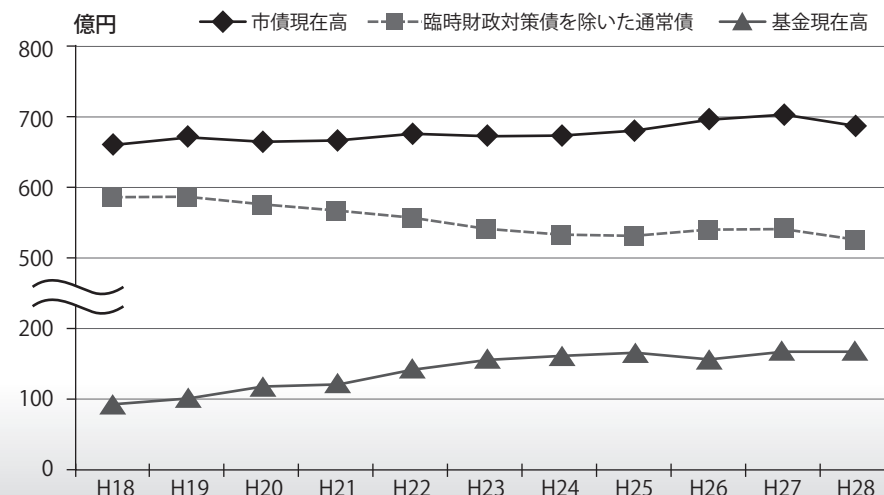
## 市債(借金)残高の状況

会計名	平成27年度末	平成28年度末	増減額
一般会計	439億 1,593万円	437億 3,430万円	△1億 8,163万円
うち合併特例債	191億 8,204万円	200億 995万円	8億 2,791万円
うち臨時財政対策債	159億 578万円	159億 9,643万円	9,065万円
公営企業会計	263億 8,326万円	252億 6,766万円	△11億 1,560万円
上水道・簡易水道	88億 6,786万円	87億 6,172万円	△1億 614万円
下水道	172億 647万円	162億 1,989万円	△9億 8,658万円
農業集落排水	3億 893万円	2億 8,605万円	△ 2,288万円
市債残高合計	702億 9,919万円	690億 196万円	△12億 9,723万円
臨時財政対策債を除く市債残高合計	543億 9,341万円	530億 553万円	△13億 8,788万円

市債には、長く利用する施設の建設に当たって、資金の借入をすることにより、後年度の償還を通じて将来その施設を利用する方にも、建設の費用を公平に負担していただくという、世代間の負担の公平性を保つ役割があります。平成28年度の現在高は690億196万円で、8年ぶりに減少となりました。

## 基金(貯金)と市債(借金)残高の推移

基金の残高は、大きな取り崩しを行うことなく、増加傾向で推移しています。一方、市債の残高においては、臨時財政対策債を除く通常債について、大型建設事業の終了に伴い減少しています。



### 臨時財政対策債とは…?

国から地方公共団体へ分配する地方交付税が足りない場合に、不足分を地方公共団体で借金をしてまかなうための市債です。臨時財政対策債は、その元利償還金相当額が後年度の交付税に算入することとされています。



# 平成28年度実施事業

平成28年度にも多くの事業を実施しました。主な事業の内容について、一部を写真で紹介します。



**移住・定住促進事業** 笛吹市を知り、訪れ、住んでもらうために、移住のワンストップ窓口を設置しました。情報発信のための地域おこし協力隊員の採用、移住体験を目的としたお試し住宅の整備、都市部での説明会開催など、人口増に取り組んでいます。



**防犯灯設置維持管理事業** 電気料金の節減や防犯強化に役立てることを目的に、蛍光灯照明の防犯灯をLED照明機器に更新するための補助金を、行政区に対して交付しました。地域住民が安全・安心に暮らすことができる環境を整備します。



## 環境施設事業（甲府・峡東クリーンセンター、笛吹市境川観光交流センター（寺尾の湯））

甲府市、笛吹市、山梨市および甲州市の近隣4市で、甲府・峡東クリーンセンターの建設および温泉施設を併設した笛吹市境川観光交流センター（寺尾の湯）の整備を行いました。平成29年4月から稼動および運営が始まっています。



## 笛吹八代スマートIC整備事業

笛吹市の新たな玄関口として、一般道から直接高速道路に乗り入れることができる、笛吹八代スマートインターチェンジおよび周辺道路の整備を行いました。観光客の増加や物資の輸送強化、災害時の避難路としての効果も期待されます。



## 俳句の里づくり推進事業

第20回となる「笛吹市小学生・中学生俳句会」や俳句教室の実施、飯田蛇笏・龍太両先生が活動の拠点とした山廬における俳諧堂の復元事業の支援を通じて、俳句の里としての笛吹市をアピールしました。



## 多世代包括ケア情報クラウド化推進事業

子育ておよび医療・介護に関する情報をクラウド化し、スマートフォンやタブレットで効率的な情報の発信・共有を行うことができるシステムを導入しました。子育て世帯や高齢者が安心して生活できる環境づくりに取り組みます。

■問合せ先 財政課 ☎ 055(262)4111

●発行／2017年11月1日 山梨県笛吹市役所

●編集／経営企画課・広聴広報担当

●所在地／〒406-8510 笛吹市石和町市部777番地 ☎ 055(262)4111

●URL <http://www.city.fuefuki.yamanashi.jp/>